

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 アドルーム

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業系一般廃棄物の処理は法律に基づき適切に行っている・石坂グループに契約 ・産業廃棄物も石坂グループに持込みマニフェストを発行してもらっている			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車のガソリン使用量や各車両の燃費計算を行っている。効果的なアポ取りや営業活動を推奨している ・毎月の電力使用量を社内共有し削減意識の向上に取り組んでいる							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境省のガイドラインに基づき簡易試算シートを用いてCO2の排出量を把握し排出抑制に取り組んでいる		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4		13	14	15				
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において廃プラやレジ袋の使用削減に取り組んでいる ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性保全に取り組んでいる						6.6										14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・会議や提出資料のペーパーレス化、裏紙の利用を促進している										9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15			
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水設備(トイレ)の導入、ストッパー付きの散水用ホースの利用等節水に取り組んでいる		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用品についてはグリーン購入やリサイクル製品の購入を推奨している										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・社内での飲食(懇談会、忘新年会等)には食品ロス削減の為に食事を残さないように促す時間を設けている	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・オフィス内外に観葉植物を配置している													11.6 11.7			13.1 13.3	15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 “伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・健康経営を促進するために徒歩及び自転車通勤者にも手当を設けている										9.4		11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			・環境省のガイドラインに基づきCO2の排出量を把握し、自社の目標を設定し排出抑制に取り組んでいる							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

